

4K・8Kに関する周知・広報戦略(案)

平成29年3月7日
平 成 2 9 年 3 月 7 日
事 務 局

- 1 BS及び110度CSによる4K・8K放送に関する周知・広報の必要性
- 2 今後の周知・広報の基本的考え方
- 3 周知・広報の取組案①～⑧
- 4 今後の主な取組スケジュール(イメージ)

(参考)

- BS・東経110度CSによる4K・8K実用放送の業務等の認定の実施
- 衛星4K・8K新放送(仮)を4Kテレビ等で視聴する方法(イメージ)
- 最新の周知・広報用リーフレット

「放送を巡る諸課題に関する検討会 第一次取りまとめ」より

- ・ 現在市販されている4K(対応)テレビには、今後開始されるBSによる4K・8K試験放送やBS等4K・8K実用放送に対応する受信機能が搭載されていないため、当該放送を視聴するには別に受信のための機器(BS等4K・8K放送対応チューナー)が必要
- ・ BS等4K・8K実用放送を視聴するためには、4K・8K受信機のほか、現在設置しているアンテナ等の受信設備を交換するか、BS等4K・8K実用放送を再放送するケーブルテレビやIPTV等に参加する必要がある
- ・ このような状況について、視聴者には必ずしも理解が進んでいるとはいえない
- ・ 4K・8K受信機に関する情報等について、国民・視聴者にわかりやすい形での周知・広報が重要
- ・ 速やかに、国と関係事業者、団体等が連携して、周知・広報等の具体的な内容・方法等について検討を進めることが必要

周知内容について

- ・「BS・110度CSによる4K・8K放送」の呼称、ロゴ・マークの活用等により、4K・8K放送に関する基礎的事項を分かり易く伝える
(例:既存放送の置き換えではなく新たなチャンネル追加であること、現在、販売中の4K(対応)テレビに対応チューナーは内蔵されておらず、既に購入した4K(対応)テレビで視聴するためには、別途、対応チューナーが必要なこと、その他、アンテナ交換や配線工事の必要可能性もあること等)
- ・消費者が視聴できる放送を容易にイメージできるよう、事業者名等を具体的に示す
- ・今後、BS右旋の4K放送実施に向けて帯域再編が予定されており、既存のテレビやレコーダー等のリモコンのチャンネルボタン操作等が必要な場合があることを、事前に十分伝える
- ・アンテナで受信した信号が宅内の受信設備から外部に漏れて電気通信サービス等に影響を与えないよう、適切な機器の使用や工事が必要なことを、丁寧に伝える
- ・集合住宅における工事の必要可否、工事費の事例等、マンション管理組合等が工事の実施判断に必要な情報を分かり易く伝える

周知方法について

- ・家電販売店の店頭に加え、業界毎に特徴や強みを生かした周知・広報の実施
- ・関係業界等が連携して周知・広報を実施
- ・ワールドカップやオリンピック等、イベント開催に合わせた集中的な周知の実施
- ・消費者からの相談への対応体制を構築し、消費者の疑問や誤解等の解消を図る

【基本的考え方】

「BS・110度CSによる4K・8K放送」の呼称、ロゴ・マークの活用等により、4K・8K放送に関する基礎的事項をわかりやすく伝える

① 「衛星4K・8K新放送(仮)」の呼称やロゴ・マークを、関係業界で積極的に活用

〔「BS・110度CSによる4K・8K放送」の呼称について、
本資料では仮名称として「衛星4K・8K新放送(仮)」と記す。〕

- ・ 消費者に接する様々な業界が様々な場面で、呼称、ロゴ・マークを用いて基礎的事項^(※)の分かり易い周知・広報に努める

(※) 現在、販売中の4K(対応)テレビに対応チューナーは内蔵されておらず、既に購入した4K(対応)テレビで視聴するためには、別途、対応チューナーが必要なこと 等

② キャラクター等による周知キャンペーンの展開









- ・ 「地デジカ」のように、多くの国民が親しみをもてるキャラクター等を検討
- ・ 各地のイベント等において「衛星4K・8K新放送(仮)」の周知・広報を実施

③ 放送業界による、番組等を活用した放送波での周知・広報の実施

- ・ 現在のBSや110度CSの視聴者に限らず、将来の視聴可能性を見据えて幅広く伝える

④ 業界イベントへの参加

- ・ 「衛星4K・8K新放送(仮)」ブースの設置などにより、来場者に分かり易く伝える

	BS	110度CS	124／128度CS	ケーブル
2K等	BSデジタル 	110度CSデジタル  or スカパー！ 	124／128度CSデジタル or スカパー！ プレミアム サービス 	各社毎
4K	<p style="color: red; text-align: center;">「衛星4K・8K新放送(仮)」</p> <p style="color: red;">現在、 (一社)放送サービス高度化推進協会 (A-PAB)にて検討中</p>		チャンネル名は、 スカパー！4K 映画 スカパー！4K 総合 スカパー！4K 体験   	ケーブル 4K 
8K			—	—

【基本的考え方】

消費者が視聴できる放送を容易にイメージできるよう、事業者名等を具体的に示す

① 衛星4K・8K新放送(仮)の提供事業者の決定

- ・ 放送サービスの提供希望者から認定申請を受付（平成28年9月15日～10月17日）
- ・ 放送事業者決定（平成29年1月24日）

➡（参考）BS・東経110度CSによる4K・8K実用放送の業務等の認定の実施
<p16～19参照>

②（事業者の決定後）周知・広報活動において事業者名も紹介

- ・ 消費者が視聴できる放送を容易にイメージできるよう、周知・広報リーフレット、家電販売店の店頭、製品カタログ、説明会、ホームページ等において、以下の情報などを明示（右旋、左旋のそれぞれの放送事業者名、4K放送であるか8K放送であるか、既存放送の置き換えではなく、新たに始まる放送であること 等）

③ 放送の種類(右旋／左旋、4K／8K)に応じた、視聴方法の説明

- ・ 視聴するためにアンテナ交換等が必要になる放送／交換等を行わずに視聴できる可能性がある放送について、周知・広報時に分かり易く紹介する

➡（参考）衛星4K・8K新放送(仮)を4Kテレビ等で視聴する方法(イメージ)
<p20参照>

【基本的考え方】
 今後、BS右旋の4K放送実施に向けて帯域再編が予定されており、既存のテレビやレコーダー等のリモコンのチャンネルボタン操作等が必要な場合があることを、事前に十分伝える

① BS右旋の帯域再編方法、実施スケジュールの検討

- 衛星4K・8K新放送(仮)の提供事業者決定(平成29年1月24日)を受け、今後、BS右旋で帯域再編(帯域削減、チャンネル変更)を行うこととなったため、円滑な再編実施に向け、国、関係する放送事業者、ケーブルテレビ事業者等により、再編方法や実施スケジュール等に関する具体的な検討を行う

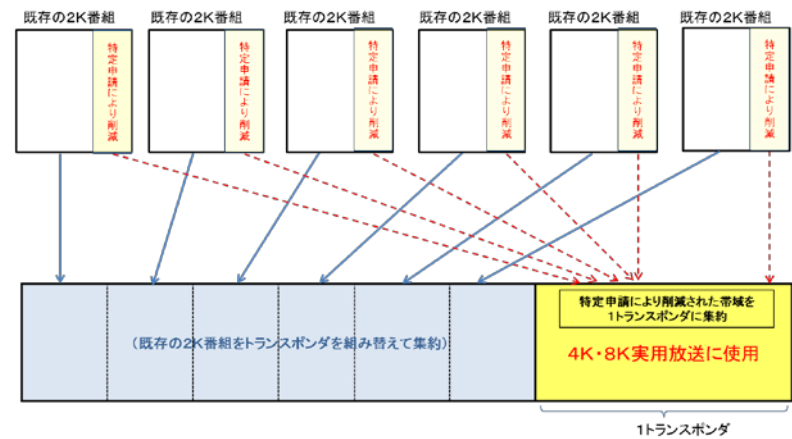
② チャンネル再設定の必要性、方法、時期等の消費者への情報提供

- 帯域再編に伴い、視聴者のテレビやレコーダー等の受信機について、今後、リモコンのチャンネル上下ボタンの操作等が複数回、必要になる場合があることから、国や関係業界等により事前の十分な周知を実施する

【リモコンのボタン操作イメージ】



【帯域再編のイメージ】



➡ (参考)BS右旋における帯域再編前／再編後のイメージ
 <p21参照>

【基本的考え方】

アンテナで受信した信号が宅内の受信設備から外部に漏れて電気通信サービス等に影響を与えないよう、適切な機器の使用や工事が必要なことを、丁寧に伝える

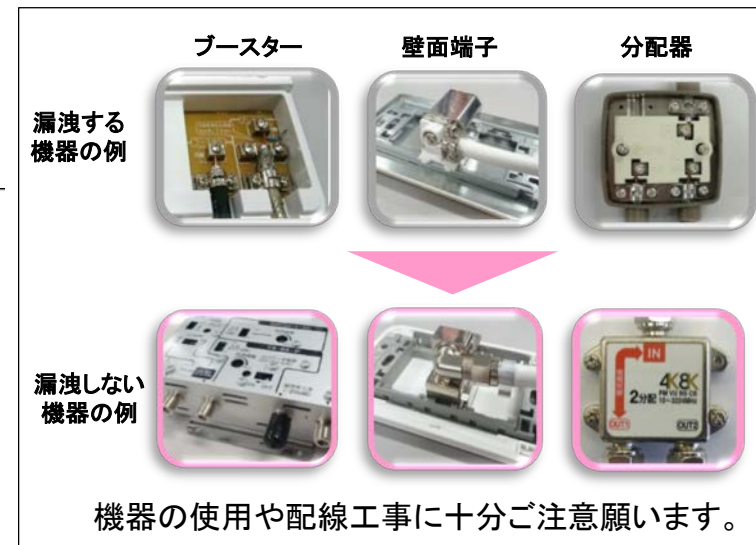
① 衛星放送用受信設備の技術基準の検討

- アンテナで受信した信号が宅内の受信設備から外部に漏洩すると、同じ周波数で提供されている電気通信サービス等に影響を与える可能性があるため、衛星放送用受信設備に求められる技術基準を策定する
(現在、情報通信審議会 情報通信技術分科会 放送システム委員会において検討中)

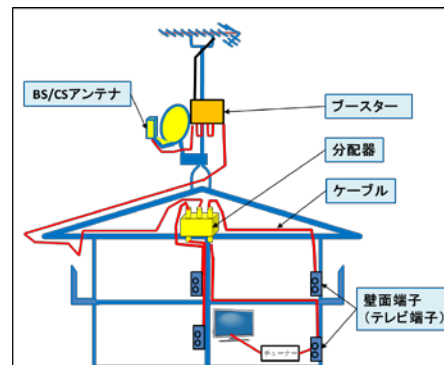
② 技術基準の関係業界及び消費者への情報提供

- ①の基準とともに、適切な機器の使用や工事の必要性について関係業界へ丁寧な周知を行い、基準を満たす機器の製造・流通・販売、工事の実施を啓発
- 衛星4K・8K新放送(仮)の視聴者に対して、適切な情報提供を行う

【適切な機器の使用例(イメージ)】



【宅内配線のイメージ】



③ 対策促進のための取組実施

- 4K・8Kに対応した受信環境整備支援を行えるように、電波利用料の用途拡大に向けた電波法改正に関する取組を実施

【基本的考え方】

集合住宅における工事の必要可否、工事費の事例等、マンション管理組合等が工事の実施判断に必要な情報を分かり易く伝える

① 集合住宅における工事可否の判定方法、標準的な工事方法等の検討

- ・ 集合住宅において衛星4K・8K新放送(仮)を視聴するために必要な工事について、現在、検討中の衛星放送用受信設備の技術基準を踏まえ、今後、工事業界において標準的な工事方法等を検討する

② 集合住宅における工事費の事例調査

- ・ ①の結果を踏まえ、集合住宅の状況に応じた工事費の事例について調査・分析する

③ マンション管理組合等が工事实施を判断するために必要な情報の提供

- ・ 集合住宅での衛星4K・8K新放送(仮)視聴に関するリーフレットやホームページ等の作成
- ・ 家電販売店やマンション管理組合等と関係の深いマンション管理業界等への情報提供、業界紙やイベント(電気工事、建設、不動産関連等)の活用による周知・広報

【基本的考え方】

家電販売店の店頭に加え、業界毎に特徴や強みを生かした周知・広報の実施

- 放送、製造、販売等の関係する業界毎にそれぞれの特徴や強みを生かした周知・広報を積極的に実施する

【基本的考え方】

関係業界等が連携して周知・広報を実施

① 周知・広報素材の他業界への提供による、効率的な周知・広報活動の実施

- ・ 放送、製造業界等が作成した周知・広報リーフレットを家電販売業界等へ提供
➡ (参考)最新の周知・広報用リーフレット((一社)放送サービス高度化推進協会作成(平成29年3月1日))
＜p22参照＞
- ・ 工事業界等が作成した周知・広報リーフレットを、マンション管理販売や不動産業界へ提供
- ・ 国、放送、製造業界等が作成した消費者対応Q&A等を、衛星4K・8K新放送(仮)視聴相談センター(仮称)、家電販売業界、消費生活センター等へ提供

② 業界連携による各種イベントへの対応

- ・ マンション管理販売や不動産業界が主催する衛星新放送(仮)に関するセミナー等に、国、放送、製造業界等が積極的に参加
- ・ 各種イベントにおいて、各業界が連携して「衛星4K・8K新放送(仮)」ブースを設置・運営し、来場者への効果的な周知・広報を実施

③ 4K・8K放送の普及促進に向けた業界等連携体制の構築

- ・ 衛星4K・8K新放送(仮)の実用放送開始に向けて、国民の認識・理解度の向上、普及促進を図るため、「4K・8Kに関する周知・広報戦略」を踏まえ、関係団体・事業者の連携により技術的課題や消費者からの相談への対応など具体的取組を進めるための連絡協議会(仮称)を平成29年4月を目途に設置

【基本的考え方】

ワールドカップやオリンピック等、イベント開催に合わせた集中的な周知の実施

- ボーナス商戦期(毎年7月、12月前後)に加え、以下の国際・国内イベントを契機に、関係者による周知・広報を集中的に実施

＜平成29年＞

実用放送開始1年前（平成29年12月1日）

＜平成30年＞

平昌冬季オリンピック・パラリンピック（平成30年2月9日～25日、3月9日～18日）

露サッカーワールドカップ（平成30年6月14日～7月15日）

（BS右旋の帯域削減期限）（平成30年7月23日）

実用放送開始（平成30年12月1日）

＜平成31年＞

日ラグビーワールドカップ（平成31年9月20日～11月2日）

＜平成32年＞

東京オリンピック・パラリンピック（平成32年7月24日～8月9日、8月25日～9月6日）

※上記日程は、各イベントの関連WEB等を元に作成したものであり、今後変更となる場合があります。

【基本的考え方】

消費者からの相談への対応体制を構築し、消費者の疑問や誤解等の解消を図る

① 「衛星4K・8K新放送(仮)視聴相談センター(仮称)」の設置準備

- ・ 平成29年度の開設に向け、以下の事項等について検討を開始する
運営体制
相談センターにおける対応範囲(どのような内容まで対応可能か)
関係者間の連絡体制(相談内容に応じて、適切な業界窓口を紹介できるように)
開設時期

② 具体的な相談対応方法の検討

- ・ Q&Aの作成

③ 相談センター(そのもの)の周知方法の検討

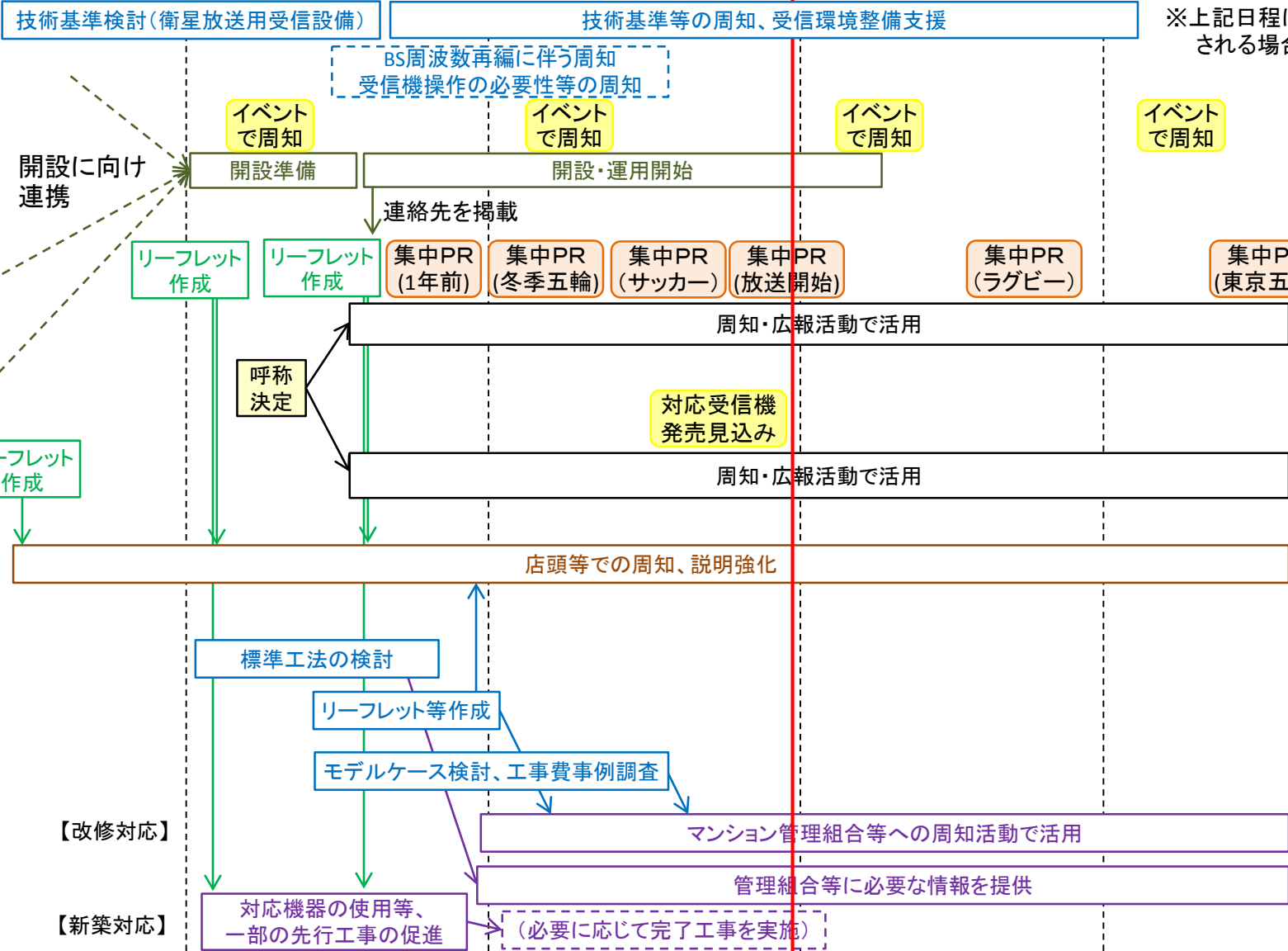
- ・ 問い合わせ先(電話番号)を掲載した周知・広報チラシ等の配布推進

4 今後の主な取組スケジュール(イメージ)

2016年(平成28年) 2017年(平成29年) 2018年(平成30年) 2019年(平成31年) 2020年(平成32年)

(12/1) ● ●(1/24) (12/1) ● ★(2/9~3/18) ★(6/14~7/15) ●(12/1) ★(9/20~11/2) ★(7/24~9/6)
 試験放送開始(A-PAB) 放送事業者決定 放送1年前 平昌冬季 オリンピック・パラリンピック 露サッカーWC 日本ラグビーWC 東京オリンピック・パラリンピック

- 国
- 相談窓口
- 放送事業者
- メーカー
- 家電販売店
- 工事業者
- マンション管理
不動産業界



※上記日程は、今後変更される場合があります。

(参考)

- BS・東経110度CSによる4K・8K実用放送の業務等の認定の実施
- 衛星4K・8K新放送(仮)を4Kテレビ等で視聴する方法 (イメージ)
- 最新の周知・広報用リーフレット

(総務省報道発表、平成29年1月24日)

総務省は本日(平成29年1月24日)、BS・東経110度CSによる4K・8K実用放送の業務及び東経110度CSによる4K試験放送の業務の認定をしました。

(別紙)

認定を受けた者

(1) 超高精細度テレビジョン放送に係る衛星基幹放送業務の認定
(a) BS放送用周波数(右旋円偏波の電波の周波数)のうち第7チャンネル及び第17チャンネル

No	周波数	認定を受けた者	番組名 (スロット数等※)	放送開始予定日
1	7 (11.84256GHz)	(株)ビーエス朝日	BS朝日 (40スロット、4K)	平成30年12月1日
2	7 (11.84256GHz)	(株)BSジャパン	BSジャパン (40スロット、4K)	平成30年12月1日
3	7 (11.84256GHz)	(株)BS日本	BS日テレ (40スロット、4K)	平成31年12月1日
4	17 (12.03436GHz)	日本放送協会	NHK SHV 4K (40スロット、4K)	平成30年12月1日
5	17 (12.03436GHz)	(株)BS-TBS	BS-TBS 4K (40スロット、4K)	平成30年12月1日
6	17 (12.03436GHz)	(株)ビーエスフジ	BSフジ (40スロット、4K)	平成30年12月1日

※ 1トランスポンダあたり120スロットにつき、40スロットは1/3トランスポンダに相当。

(b) BS放送用周波数(左旋円偏波の電波の周波数)のうち第8チャンネル、第12チャンネル及び第14チャンネル

No	周波数	認定を受けた者	番組名 (スロット数等※)	放送開始予定日
1	8 (11.86174GHz)	SC サテライト放送(株)	ショップチャンネル (40スロット、4K)	平成30年12月1日
2	8 (11.86174GHz)	(株)QVCサテライト	QVC (40スロット、4K)	平成30年12月31日
3	8 (11.86174GHz)	(株)東北新社	映画エンタテインメントチャンネル (40スロット、4K)	平成30年12月1日
4	12 (11.93846GHz)	(株)WOWOW	WOWOW (40スロット、4K)	平成32年12月1日
5	14 (11.97682GHz)	日本放送協会	NHK SHV 8K (120スロット、8K)	平成30年12月1日

※ 1トランスポンダあたり120スロットにつき、40スロットは1/3トランスポンダに相当。

(c) 東経110度CS放送用周波数(左旋円偏波の電波の周波数)のうちチャンネル番号ND9、ND11、ND19、ND21及びND23

No	周波数	認定を受けた者	番組名 (スロット数等※)	放送開始予定日
1	ND9 (12.431GHz)	(株)スカパー・エンターテイメント	スカチャン4K 1 (60スロット、4K)	平成30年12月1日
2	ND9 (12.431GHz)		スカチャン4K 2 (60スロット、4K)	平成30年12月1日
3	ND11 (12.471GHz)		スカチャン4K 3 (60スロット、4K)	平成30年12月1日
4	ND11 (12.471GHz)		スカチャン4K 4 (60スロット、4K)	平成30年12月1日
5	ND19 (12.631GHz)		スカチャン4K 5 (60スロット、4K)	平成30年12月1日
6	ND19 (12.631GHz)		スカチャン4K 6 (60スロット、4K)	平成30年12月1日
7	ND21 (12.671GHz)		スカチャン4K 7 (60スロット、4K)	平成30年12月1日
8	ND23 (12.711GHz)		スカチャン4K 8 (60スロット、4K)	平成30年12月1日

※ 1トランスポンダあたり120スロットにつき、60スロットは1/2トランスポンダに相当。

(2) 超高精細度テレビジョン放送の試験放送に係る衛星基幹放送業務の認定
(東経110度CS放送用周波数(左旋円偏波の電波の周波数)のうちチャンネル番号ND23)

No	周波数	認定を受けた者	番組名 (スロット数※)	放送開始予定日
1	ND23 (12.711GHz)	(一社)放送サービス高度化推進協会	A-PAB試験放送 (60スロット、4K)	平成29年4月1日

※ 1トランスポンダあたり120スロットにつき、60スロットは1/2トランスポンダに相当。

BS放送(右旋)のテレビ番組のチャンネル配列図

1ch (11.72748GHz)			3ch (11.76584GHz)			13ch (11.95764GHz)			15ch (11.99600GHz)		
BS朝日 総合編成	BS-TBS 総合編成	BS Japan 総合編成	WOWOW プライム 総合娯楽	NHK BSプレミアム	ディズ ニー・ チャ ンネ ル 総合 娯楽 【SD】	BS日テレ 総合編成	BSフジ 総合編成	BSアニマッ クス アニメ	NHK BS1	スターチャ ンネル 2 映画	スターチャ ンネル 3 映画
(16)	(16)	(16)	(24)	(18)	(6)	(16)	(16)	(16)	(20)	(13)	(13)
5ch (11.80420GHz)			7ch (11.84256GHz)			9ch (11.88092GHz)			11ch (11.91928GHz)		
WOWOW ライブ 総合娯楽	WOWOW シネマ 総合娯楽	BS朝日 総合編成	BSジャパン 総合編成	BS日テレ 総合編成	※1	BS11 総合編成	スターチャ ンネル 1 映画	TwelV 総合編成	FOXスポー ツ &エンター テイメント 総合娯楽	BS スカパー! 総合娯楽	放送大学 大学教育放送
(24)	(24)	(40)	(40)	(40)		(18)	(15)	(15)	(16)	(16)	(16)
17ch (12.03436GHz)			19ch (12.07272GHz)			21ch (12.11108GHz)			23ch (12.14944GHz)		
NHK SHV 4K	BS-TBS 4K 総合編成	BSフジ 総合編成	グリーンチャンネル 農林水産情報・ 中央競馬	J SPORTS 1 スポーツ	J SPORTS 2 スポーツ	イマジカ BS・映画 映画	J SPORTS 4 スポーツ	J SPORTS 3 スポーツ	BS釣りビジョン 娯楽・趣味	BS日本映画 専門チャンネル 映画	Dlife 総合編成
(40)	(40)	(40)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)

注: 斜体表示のテレビ番組(7ch、17ch)は4K。

※1 BS日テレは平成31年12月1日より、それ以外は平成30年12月1日より放送開始予定。

4K6番組	HD28番組	SD1番組	合計35番組※2
-------	--------	-------	----------

※2 データ放送(1番組)、音声放送(1番組)を除く。

2ch (11.74666GHz)	4ch (11.78502GHz)		6ch (11.82338GHz)		8ch (11.86174GHz)		
未使用	未使用		未使用		SCサテライト放送	QVCサテライト	東北新社
					ショップチャンネル	※ QVC	映画エンタテインメントチャンネル
					ショッピング	ショッピング	映画
(120)	(120)		(120)		(40)	(40)	(40)
10ch (11.90010GHz)	12ch (11.93846GHz)			14ch (11.97682GHz)		16ch (12.01518GHz)	
未使用	WOWOW			日本放送協会		未使用	
	※ WOWOW			NHK SHV 8K			
	総合娯楽						
(120)	(40)	(40)	(40)	(120)		(120)	
18ch (12.05354GHz)	20ch (12.09190GHz)			22ch (12.13026GHz)			
未使用	未使用			未使用			
(120)	(120)			(120)			

注: BS放送(左旋)のテレビ番組は4K(NHKは8K)。

※ QVCは平成30年12月31日より、WOWOWは平成32年12月1日より、それ以外は平成30年12月1日より放送開始予定。

8K1番組 4K4番組	合計5番組
-------------	-------

ND1 (12.271GHz)		ND3 (12.311GHz)		ND5 (12.351GHz)		ND7 (12.391GHz)	
未使用		未使用		未使用		未使用	
(120)		(120)		(120)		(120)	
ND9 (12.431GHz)		ND11 (12.471GHz)		ND13 (12.511GHz)		ND15 (12.551GHz)	
スカチャン4K 1 総合娯楽	スカチャン4K 2 総合娯楽	スカチャン4K 3 総合娯楽	スカチャン4K 4 総合娯楽	未使用		未使用	
(60)	(60)	(60)	(60)	(120)		(120)	
ND17 (12.591GHz)		ND19 (12.631GHz)		ND21 (12.671GHz)		ND23 (12.711GHz)	
未使用		スカチャン4K 5 総合娯楽	スカチャン4K 6 総合娯楽	スカチャン4K 7 総合娯楽		※ 【平成29年4月1日～】 A-PAB試験放送 【平成30年12月1日～】 スカチャン4K 8 総合娯楽	
(120)		(60)	(60)	(60)	(60)	(60)	(60)

注: 東経110度CS放送(左旋)のテレビ番組は4K。

※ A-PAB試験放送は平成29年4月1日からスカチャン4K 8(実用放送)開始まで放送予定。
スカチャン4K 1から8まで(実用放送)は平成30年12月1日より放送開始予定。

4K8番組	合計8番組
-------	-------

BS・110度CSアンテナ



①

衛星4K・8K新放送(仮)対応チューナー (実用放送に向けて、発売が見込まれています)



③

配線類
(ケーブル、ブースタ、
分波器、テレビ端子等)

②

HDMI[®]
ケーブル*

④

今の4Kテレビや 4K対応テレビ*



⑤

視聴する放送サービス	①	②	③	④	⑤	
BSの4K放送 (右旋・左旋ともに視聴)	右旋・ 左旋対 応に交 換要	交換・工事要の可能性 (現在、2.6GHz程度まで対応している場合、 交換・工事が不要の可能性あり)	要	4K対応のHDMI [®] ケーブルに交換要*	4K(対応) TVが必要*	
CS110度の4K放送						交換・工事要の可能性 (~3,224MHzまで対応要)
BSの8K放送						交換・工事要の可能性 (現在、2.6GHz程度まで対応している場合、 交換・工事が不要の可能性あり)
BSの4K放送 (右旋のみ視聴)	交換 不要**	交換・工事は不要**	要	4K対応のHDMI [®] ケーブルに交換要*	4K(対応) TVが必要*	

A { ビーエス朝日、BSジャパン、BS日本、NHK、
BS-TBS、ビーエスフジ }

B { SCサテライト放送、QVCサテライト、
東北新社、WOWOW }

C { スカパー・エンターテイメント }

D { NHK }

(※)HIGH SPEED(カテゴリー2)に対応したHDMI[®]ケーブル(HDMI[®]端子は、HDCP2.2、4K60Hz入力に対応)

(**)現在、放送されているBSの全てのチャンネルを受信できていない場合、交換等が必要な場合があります。

上記の内容に限らず、現在使用中の機器等の性能・機能によっては、機器交換や工事が必要な場合があります。また、上記のほかに、今後、衛星放送用受信設備の技術基準(検討中)を踏まえ、機器交換や工事が必要な場合があります。

最新の周知・広報用リーフレット

((一社)放送サービス高度化推進協会発行(平成29年3月1日))

2017年3月度

4K・8Kサービスガイド

来年12月からBSと110度CSで
(2018年)
4K・8K本放送が始まります!

(BSで4K・8K本放送を行う放送事業者)*

4K	NHK (株)ピーエス朝日 (株)BSジャパン (株)BS-TBS	(株)BS日本 (株)ピーエスフジ	SCサテライト放送(株) (株)QVCサテライト (株)東北新社 (株)WOWOW
8K	NHK		

(110度CSで4K本放送を行う放送事業者)

4K (株)スカパー・エンターテインメント(チャンネル数:8)

* 放送開始予定日は、総務省ウェブサイトの報道資料「BS・東経110度CSによる4K・8K実用放送の実験等の認定の実施」で確認できます。
http://www.cas.go.jp/jp/menu_news/s-news/01ryotou1_1_02000082.html
 * SCサテライト放送(株)は、ショッピングチャンネルも放送する事業者です。

2017年

2018年

2019年

2020年

現行

地デジ
BS
110度CS

+

4K・8K
衛星
BS
110度CS

4K・8K試験放送
(NHK、A-PAB)

4K試験放送
(A-PAB)

8K本放送

4K本放送

東京オリンピック・
パラリンピック
開催

試験放送は、一般のご家庭で見ることができません。
 (総務省公表のロードマップを基に、A-PABで編集。
 本リーフレットの「本放送」は、総務省公表のロードマップの「実用放送」のことを言います。)

4K・8Kの魅力

高画質の映像、大迫力の臨場感をお楽しみいただけます

4Kは現在のハイビジョン(2K)に比べて4倍の画素数、8Kは16倍の画素数で構成!4Kテレビや4K対応テレビは、近づいて見ても映像<画素>の荒さが気にならないので、視野が広がり、圧倒的な臨場感をお楽しみいただけます。また、現在の放送を複製する場合でも、高精細な映像に変換し再生する機能を搭載しているため、さらに美しく、細部までより高精細な画質でお楽しみいただけます。

フルハイビジョン 約207万画素	4K 約384万画素	8K 約768万画素
---------------------	---------------	---------------

HDRに対応した番組も放送されます

HDR(ハイダイナミックレンジ)とは、映像が本来持っている明るさや色、コントラストを表現できる技術です。肉眼で見える感覚により近い映像をお楽しみいただけます。

従来の映像 (イメージ)

HDRの映像 (イメージ)

窓の外の明るい景色も、HDR方式により色が豊かに表現されています。

サラウンドもお楽しみいただけます

4K・8K放送では、映像の各シーンにマッチした臨場感を味わえる5.1チャンネルサラウンドや22.2マルチチャンネルを楽しむことができます。

現在ご覧いただける「4K放送」や「4K配信サービス」

■124/128度CS放送 (スカパー!プレミアムサービス)

スカパー! 総合

スカパー! 映画

スカパー! 体験

■ケーブルテレビ放送・配信

ケーブル4K J:COMオンデマンド

■インターネット(一例)

Ustream TV 4K acTVila フラットテレビ 4K eo 4K

インターネットによる配信サービスには、その他にNetflix、dTVなどがあります。
 スカパー!プレミアムサービスの4K受信や、インターネットによる4K配信サービスへの対応は、メーカーや機種によって異なります。
 ケーブル4Kの受信にはセットアップボックス(STB)が必要です。
 それぞれのサービス視聴には、申し込みまたは別途契約が必要な場合があります。

気派/総務省・経済産業省 協賛/全国電機商業組合連合会 大手家電流通協会 協力/一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA)
 一般社団法人 放送サービス高度化推進協会 www.apab.or.jp/4k-8k

2017年3月版-A